

5月度 例会 個人 山行報告書		報告者	中山 正夫	参加 メンバー	CL:中山正夫 岸上 薫
		報告日	5/11		
山 域	鈴鹿山脈北部	山行日	11年 05月 3日(火) ~ 4日(水)		
山 名	烏帽子岳 ~ 鍋尻山				
山行目的	鈴鹿山脈北部の縦走		コースタイム (天候: 天気図記号)		

配布先
集会:12
山行: 1
リーダー
原紙: 集会担当者

<p>ルート図 (地図を見て正確に)</p> <p>2.5万分の1地図: 篠立、霊仙山</p>	<p>5/3(火)曇り時々晴れ 05:00 刈谷発 06:30 時山バングロ村着 06:50 発 07:35 ~ :40 休憩 08:15 ~ :25 烏帽子岳 08:35 ~ :40 三国分岐 09:35 ~ :45 休憩 10:10 ~ :15 三国岳 11:25 ~ :30 休憩 12:05 ~ :20 道迷い休憩 13:00 ~ :15 足つり休憩 14:00 ~ :05 休憩 14:45 五僧峠着 15:00 テント設営 19:00 就寝</p>
	<p>5/4(水)晴れ 04:00 起床 05:00 五僧峠テント場発 06:00 保月(ほおづき) 06:30 ~ :40 鍋尻山 08:00 五僧峠テント場着 08:25 テント撤収後発 09:35 時山バングロ村着 11:30 刈谷着</p> <p>鍋尻山頂上</p>

山行報告 5:00に本社西門近くのコンビニから岸上号で出発、関ヶ原ICより南下し時山バングロ村6:30着。平家の落人部落らしくバングロにそれぞれ平ノ 盛の名前が付いていた。杉林をジグザグに急登し、鉄塔を通過しやがて雑木の中の顕著な尾根を順調に登って行く。三国岳との分岐に中山はザックを置き、烏帽子岳8:15着、南側御池方面の展望良し。烏帽子~三国間は、標識は無いが稜線通しに踏み跡があり迷うことはない、急登して三国岳10:10着、展望なし。五僧に向かう時赤テープにだまされて稜線を外れ強引に登り返すのに体力を使う。この頃から息が上がり、耳鳴りがし、足がつりぎみになる。30分 757mの急斜面途中で、とうとう両足が麻痺し歩行困難、カバースプレでだまされまじやと30分を乗り越す。鋭角に方向転換するはずの下りでルートの違和感がありトップの岸上君に確認すると、やはり尾根一本分30度ズレていた。トバースして正規の尾根に移る。後は体調も快復し長い長いアップダウンをひたすら五僧を目指し、峠14:45着。テント設営19:00就寝。翌日は5:00発ルート変更し林道歩きで保月の廃村から、鍋尻山6:30着、天気は黄砂がかすむも霊仙が立派、来た道戻りテント撤収して林道を時山に下る。登山口9:35着。

(参加者コメント)中山さんと二人だけの山行は初で、話をしながら楽しく歩けた。ただ、普段歩いている標識がある山とは異なり、赤テープ・歩いた跡(薄い)・地形等を見ながら正しいルートに行くのはかなり難しかった。実際、一カ所はルートを誤った事により、かなりの吠をさせてしまった。読図の重要性和GPSの必要性を再認識した。

リーダー所見 烏帽子から霊仙山までの縦走計画だったのに、ふがない自分のために岸上君には迷惑をかけたと思う。単独ではなく、二人だと装備を分担できると過信し、750mlから1.5Lの酒4種類、バナナ&ポテも2種類と欲張ったのが失敗だったと反省する。よかったのは、読図の勉強にはなったと思う。謙虚に出直しを誓う。

行き感い石楠花めである余裕なし
人の世の行道わかる地図あれば
鹿鳴くや五僧峠で友と酌む
保月の桜は誰が見てやれる
沖仙

確認
(リーダー)
中
11/05/08
山
作成
(報告者)
中
11/05/09
山